



正面玄関(この日は大雪でした)



木のぬくもりが暖かい普通教室



全教室にエアコンが完備



1～3階に多目的トイレ



天井の高い体育館



地域連携室も整備



長靴も入る靴入れ

すばらしい校舎になりました 今春開校の有田小学校

春日新田小学校の一部と小猿屋小学校が合併して新しく開校する有田小学校の校舎が完成し、このほど市議会文教経済常任委員会などが現地を視察しました。

日本共産党議員団は4人全員が視察に参加し、工夫の凝らされた新しい校舎を実際に目にしました。

同校舎は、普通教室24室、特別支援教室4室、通級指導教室(言語)と通級指導教室(発達)が各1室、それに家庭科室などの特別教室が8室設置されています。そのほかに、地域連携室や放課後児童クラブ室も整備され、まさに万全の施設となっています。

特徴的なのは、並んでいる普通教室の前がゆったりとした多目的スペースとなっており、子どもたちの活動の場になっていること。1階の昇降口の前にも広いオープンスペースがあり、全体としてゆったりとした配置になっていますので、雨や雪の日でも、子どもたちの活動には心配ありません。

もちろん、そのほかの配慮もぬかりなく、普段は給食の配膳に使うエレベーターは、必要な子どもたちも使えるようになっています。また、4階以外には各階に多目

的トイレも設置されています。

各教室にはエアコンが設置されているほか、多目的スペースにはガスクリーンヒーターが設置されています。

新しい校舎であるだけに、さまざまな配慮や工夫がなされた行き届いた施設になっていますので、安心して学ぶことと思えます。

ただ、市民のみなさんからは、同じ市内であっても、校舎の施設・設備にはかなりの差があり、不便や不自由を強いられている学校もあることが指摘されています。同じ市民として、同等の教育条件を享受する権利がありますから、どの学校でも必要な設備が整うようにすることが、市の責務でもあります。今後の施設整備に大いに期待します。

またもや隠蔽!?

東京電力は、柏崎刈羽原発6・7号機のフィルター付ベントが、地震で液状化が起きた際に損傷する恐れがあることを隠していたことがわかりました。

都合の悪いことを隠すのが体質なのでしょうか。そんな体質の東電は、一刻も早く原発を全廃すべきです。



柏崎市の海岸から見た原発(橋爪議員撮影)



各教室の前には広々多目的スペース

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 581 2018年2月18日

- 連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
- 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
- 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
- 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)